

いつか来る10年後を、今から応援します。

誰もが、年をとっても住みなれた地域で、なじみの関係を続けながら、住みなれた自宅で暮らし続けたいものです。

一方で、尾鷲市社会福祉協議会では、これまで当会に寄せられる様々な相談ごとをお聞きする中で、介護保険等の公的な制度ではカバーしきれない**困りごと（ニーズ）**の存在を察知してきました。

10年後も住みなれた地域で暮らし続けるためには、介護保険などの公的制度による**共助**だけではなく、家族、隣近所、友人同士などで助け合う**互助**が必要になってきます。

今回、これからの地域に必要なささえ合いについて学ぶ講座を全4回設けました。どの講座でも、1回だけの参加でもOKです。

皆様のご参加をお待ちしています。

全4回受講いただいた方には
ヤーヤにゃん
特製オリジナルグッズをプレゼント！



第1回

第2回

第3回

第4回

GOAL!

受講時に受付でスタンプ  を押しますので
このチラシを忘れずお持ち下さい。

お申込み・お問い合わせは窓口かお電話にて

尾鷲市社会福祉協議会 0597-22-3246



第2期

みつめてみよう
はじめてみよう 自分にできること

わがらの町の “暮らし” ささえ合い



「ささえ合い活動」。みなさん、むずかしく考えていませんか？

もっと気楽に、自分に無理なく、できることから「暮らし」をささえ合い。

高齢になっても誰もが安心して住み慣れた地域での「暮らし」を続けて行くため、これからの生活のことや私たちのまちに必要なささえ合いについて学びます。

- 対象：市内在住で「ささえ合い」や「ボランティア活動」に興味・関心のある方
- 費用：無料
- 定員：各回 50名 ※各回1週間前までにお申し込み下さい。

♪ 1回だけの参加からも大歓迎！ご都合の合う日にご参加ください♪

日時	内容	会場
令和元年10月15日（火） 13：30～15：00	「制度のはざま」とささえ合い	尾鷲市立 中央公民館 3階講堂
令和元年10月28日（月） 13：30～15：00	知って納得！ 認知症サポーター養成講座	
令和元年11月15日（金） 13：30～15：00	聞いてみよう！ささえ合い活動	
令和元年11月29日（金） 13：30～15：00	地域で考えるこれからのささえ合い	

お申込み・お問い合わせは窓口かお電話にて

尾鷲市社会福祉協議会 0597-22-3246

第1回

令和元年度生活支援体制整備事業

「制度のはざま」とささえ合い

講師：尾鷲市社会福祉協議会 総務・福祉 係長 東地 朋子

地域支え合い推進員 上田 香織／岩本 ふみ代

日時：令和元年10月15日（火）13時30分～15時

場所：尾鷲市立中央公民館 3階講堂

尾鷲市にお住いの高齢者の困りごとは人により

様々です。個人差もありますし、地域ごとの違い

もあります。訪問介護（ホームヘルプ）サービス

などの介護保険サービスの利用で解決できること

もあれば、解決できないこともあります。公的な

制度で解決できないことを知り、私たちが安心して

生活を送るために、どんなささえ合いが必要なの

かを考えます。



第2回

令和元年度生活支援体制整備事業

知って納得！認知症サポーター養成講座

講師：尾鷲市社会福祉協議会 高齢者支援課 地域包括支援センター

保健師 高須 葉子／社会福祉士 大川 航平

日時：令和元年10月28日（月）13時30分～15時

場所：尾鷲市立中央公民館 3階講堂

認知症は誰もがなり得る可能性があります。

認知症について正しい理解を深め、適切な対応

を学ぶことで、地域で暮らし続ける工夫ができ

ることを多くの人に知ってほしいと願っています。

地域に暮らしている認知症の方を正しくさ

さえるための知識を学ぶことができる、実践的

な講座です。



認知症サポーターキャラバン



第3回



令和元年度赤い羽根共同募金配分金事業

聞いてみよう！ささえ合い活動

講師：四日市市曾井町『暮らしの応援隊』代表 坂倉 靖夫様

民生委員児童委員 竹本 直弘様

日時：令和元年11月15日（金）13時30分～15時

場所：尾鷲市立中央公民館 3階講堂

第3回は、実際に生活支援サービスをボラン

ティアで行っている方をお招きして、その実

際をお話していただきます。今年度は、四日

市市曾井町の方をお招きします。



第4回



令和元年度赤い羽根共同募金配分金事業

地域で考えるこれからのささえ合い

講師：皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子氏

日時：令和元年11月29日（金）13時30分～15時

場所：尾鷲市立中央公民館 3階講堂

誰もが年をとっても住みなれた地域で、なじみ

の関係を続けながら、住みなれた自宅で暮らし

続けたいものです。ワークショップを通じて、

これからの地域に必要なささえ合いについて学

びます。

